

## 「春のスポーツ大会」

伊藤 太（光華小地区・1期目）

私が担当している光華小地区の「春のスポーツ大会」について紹介します。

このスポーツ大会は、毎年5月の下旬に光華小学校の校庭や体育館で行われています。主催は青少年とともに歩む光華小地区委員会（通称ウィズユース光華）、光華小PTAをはじめ、子ども会や地域のボランティアの方が協賛しています。

校庭ではドッジボール、ストラックアウト、ミニサッカー、ボクシング、輪投げなどが行われ、体育館ではミニバスケット、魚釣りゲームなどが行われました。

子どもたちには、事前にスポーツ大会への参加募集を行い毎年約200人がエントリーしています。毎年複数の行事が行われますが、スポーツ大会への参加が一番多いところが特徴です。

ところで、今回は新しい競技種目を1つ加えました。

きっかけはボランティアの都合により競技種目を削減し、新たな種目を検討していました。そこで、スポーツ推進委員の私に相談があり、国体のデモンストレーション競技でもある「インドアペタンク」がよいのではと提案し、スポーツ振興課にお願いして用具類一式を借りることにしました。

当日は、競技を行うというよりも、ルールを覚えてもらうための練習を中心に行いました。新種目なので、最初は子どもたちに、受け入れてもらえるか心配でしたが、時間とともに、子どもたちも多く参加してくれてほっとしました。来年は事前にチーム編成を行い、勝敗を競い合えればと考えています。



## 「ニュースポーツ研修会 ラインクップ」

奥秋千代子（中神小地区・5期目）

今回は、ラインクップの研修会に参加しました。スウェーデン生まれでバイキングが生み出したといわれる「クップ」を、屋内でもできるように日本で考案しました。

「クップ(kubb)」とは、スウェーデン語で薪(まき)という意味で、草地に立てたクップにカストピンナ(丸棒)を投げて倒し合うスポーツです。

ラインクップは、ルールを簡略化して、子どもから大人まで、障害のある方も一緒に楽しむことができます。

ルールを簡単に説明しますと、

① 6個のクップを投げる位置から3・4・5・6・7・8メートル離して一直線に置く。

② 点数は、手前から1・2・3・4・5・6点とし、6本のカストピンナで下手・縦投げによりクップを倒した当該点数の合計で競う。

③ 対戦は6の約数の人数で行います。対戦は3回戦・6回戦とし総合点で競う。

④ 倒すクップの順序を取り違えた時は、ペナルティエーションとし対戦相手に攻撃権が移る。

実際にカストピンナを投げてみると、思っていたよりも自分の思う所に投げるのが難しいが、何度か練習するうちにコツをつかむことができ、クップを倒すことができました。

チームや個人でもすることもでき、その時のメンバーによっても変えることができます。それに何より、道具が自分でも作ることができ、すぐ始めることができます。機会をつくり市民の方々にも楽しんでもらえたいと思います。

